

図書室だより

印旛中学校

令和7年5月号

🌸ご入学、ご進級、おめでとうございます🌸

はじめまして、今年度より学校司書として勤務することとなりました。H です。
皆さんが気軽に来られて過ごしやすい図書室にしたいと思っています。
また、皆さんの関心事が本につながったらいいなと思っていますので、
私が図書室に来ている水曜日と金曜日に声をかけに来てください。



📖 2025年本屋大賞が決まりました📖

本屋大賞とは全国の書店員さんが「面白い」「多くの人に読んでほしい」と選んだ作品です。
今年度の受賞作品は (^ ω ^) . . .

- 大賞 <カフネ> 阿部暁子 (講談社)
- 2位 <アルプス席の母> 早見和馬 (小学館)
- 3位 <小説> 野崎まど (講談社)
- 4位 <禁忌の子> 山口未桜 (東京創元社)
- ★5位 <人魚が逃げた> 青山美智子 (PHP研究所)
- 6位 <spring> 恩田陸 (筑摩書房)
- 7位 <恋とか愛とかやさしさなら> 一穂ミチ (小学館)
- 8位 <生殖記> 朝井リョウ (小学館)
- 9位 <死んだ山田と教室> 山田玲介 (講談社)
- ★10位 <成瀬は信じた道をいく> 宮島未菜 (新潮社)

【★のついている本は図書室の蔵書にあります】

ちなみに本屋大賞には他に翻訳小説部門と発掘部門があります。発掘部門とはジャンルを問わず、2023年11月30日以前に刊行された作品のなかで、時代を超えて残る本や、今読み返しても面白いと思う本をエントリー書店員が一人1冊選び、さらにその中から、これは！という1冊を実行委員会が選出、「超発掘本！」として発表したもので、小説以外の本を読みたい時の参考になるかもしれません。以下、翻訳小説部門1位の作品と発掘部門の本を紹介します。

翻訳小説部門1位 <フォース・ウィングー第四騎竜団の戦姫一>
レベッカ・ヤロス：著 原島文世：訳 (早川書房)

超発掘本！ <ないもの、あります>クラフト・エヴィング商会 (ちくま文庫)

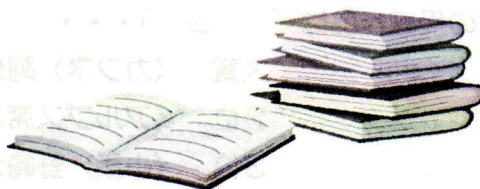
今年度の新着本が来る前に・・・

今年度の新着本が来るまで新着本の棚が少しさみしいので、そこに映像化された（る）本（TVドラマ・映画・アニメなどノベライズを含みます）の一部をピックアップして並べました。

例えば、本でも人気が高くシリーズ化されている「謎解きはディナーのあとで」などは、TVドラマ→映画→アニメとメディアを変えて何度も映像化されています。また、TVドラマ・映画からノベライズされた「コードブルー」はご存知の通り、近隣の日本医科大学千葉北総病院のドクターヘリを撮影に使っていますよね。

棚で背表紙を見て、自分が読んだ本が映像化されていることに気づいて興味があれば、その映像が自分のイメージ通りか確かめてみるのも面白いかもしれません…が、得てして映像化されるとラストが原作と違うということが間々あるので、そこのところはどうぞご了承ください。

そして、『こんな内容の本を集めて並べてほしい！』『こんなテーマで本をピックアップしてほしい！』という希望があったら、是非教えてください。皆さんの声をどんどん反映していきたいと考えていますので、よろしくお願いします！



コラム 図書室の本の一生 ①

皆さんが図書室で手に取っている図書室の本はいくつものステップを踏んで、本棚に並んでいます。どんな流れになっているのでしょうか？

<選定>

以下の方法で、図書室に受け入れる本を図書室担当の先生と司書で検討します。

図書室全体に並んでいる本を念頭に、並んでいる本が少なかったり、内容が古くなったりして新しい本を増やしたい分野、中学生が関心を持っている本や話題になっている本などを選びます。その方法は次の通りです。

A：リストによる選定

出版社や出版取次から送られてくる図書案内リストから選びます。

B：予約、リクエストによる選定

所蔵していない本について皆さんの予約、リクエストをもとに選びます。